

CHOJYURO IMAFUJI in FUKUOKA

四世 今藤 長十郎

長唄

コンサート



江戸時代の若者も心躍らせた日本の伝統芸能
今、先達の古きを温め、新しきに出会う

平成23年12月17日(土) 18時30分開演 (20時終演予定)

大濠公園能楽堂 092(715)2155

前売り 2,500 円 当日 3,000 円 [全席自由] (高校生まで無料、大学生 1,000 円)



司会：徳永玲子
KBCテレビ「アサデス。」キャスター

チケット・公演のお問合せ 092(292)7341(びんびん会)

主催：九州女性企業家のびんびん会 KURUMAZA 後援：西日本新聞社 産経新聞社

四世 今藤長十郎 長唄 コンサート

演目

五條橋

それ都大路ゝもの淋し
さても源のゝ待ち居たる
ここに西塔のゝ次第なり(歌詞一部)

解説

真夜中、人通りの絶えた京の五條橋の橋の上、
笛を吹く牛若丸と千本目の剣を取りにきた弁慶の
立ちまわりの勇ましい曲です。
一七三二年(享保十六年)初演

吉原雀

凡そ生けるを放つこと、
人皇四十四代の帝、光正天皇の御宇かとよ、
養老四年の末の秋、宇佐八幡の託宣にて、
諸国に始まる放生会。
浮寝の鳥にあらねども、今も恋しき一人住み、
小夜の枕に片思い、
可愛い心と組みもせて、
なんじゃやら憎らしい。(歌詞一部)

解説

放生会の由来に始まり、吉原廓の生態と廓気分を描く、
粋な情緒あふれる作品です。
変化に富み、唄も良い節で、
三味線も存分に腕を発揮できる楽曲となっています。
またその演奏効果を高める鼓の演奏も聴きどころです。
一七六八年(明和5年)初演

出演

三味線

今藤長十郎
今藤長龍郎

唄

今藤長一郎
今藤佐真之右

小鼓

藤舎清之

大鼓

藤舎呂鳳

笛

藤舎推峰

司会

徳永玲子

会場地図



四世 今藤長十郎 プロフィール
毎年、京都宮川町「京おどり」を作曲。
毎年の公演である「三味線の響」主宰。「繭の会」同人。
その他、長唄協会主催、東京新聞主催の長唄公演等に出演。
NHK(テレビ/ラジオ)等多数出演、海外公演(アメリカ、ヨーロッパ、アジア)も幅広く活躍。
現在、社団法人長唄協会常任理事、大阪芸術大学客員教授、国立劇場養成課講師、
NHK文化センター(東京、大阪、京都)講師、東山女子学園教授など要職多数。
2009年文化庁長官表彰。2010年モナコ公演、2011年ベルリン公演が行なわれた。

今藤長十郎 福岡稽古場 (福岡市博多区住吉)
稽古のお問い合わせ: (株)ランドマークス 092(716)6166

